

牧野曆

隣り合わせ

美味しいものや綺麗なものを並べ
積み重ねた建物の隣りに
地下へ続く階段に横になっている人がいる。
尋ねてみたい。言葉が通じれば。
いつからここに眠っているのか。

故里から聞こえてくるもの

堀っこの小さい石の上を水は軽く飛び跳ねていた。
竹やぶに光と風が通りすぎるとき不思議な音をたてた。
ゆっくり沈みこんでいた季節が廻り
「おはようございます。」すがすがしい言葉を
子供たちは差し出し春の道を歩いて来ました。